

第3学年2組 学級活動(話し合い) 指導案

場所 3-2 教室
指導者 君山 寿

1 題材 月1回の体育かんでのすごし方を考えよう

2 題材について

(1) 題材設定の理由

本学級では、4月から仲良し係を中心に、業間休みを利用してクラスの団結力を高めようと、クラス全員遊びや大縄の字跳びのチャレンジランキングに継続して取り組んできた。本年度の学級生活がスタートして早くも7ヶ月が過ぎた。そのような取り組みを通して、クラスの児童の人間関係が深まり、生活にも落ち着きが見られるようになってきた。

そこで、今回の活動では、さらに充実した人間関係を築いていくとともに、自分たちで計画を立て、実施する喜びを味わわせることをねらいとした。月に1回ある、昼休みに体育館をクラスで使える機会を生かし、クラス全員で今までやったことのない活動を企画して取り組むことは、よりよい学級集団づくりにつながると考え、本題材を設定した。また、この題材は道徳の内容項目2-(3)「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」の実践を効果的に行えるものである。

(2) 児童の実態(男16人 女12人 計28人)

〈アンケート調査の結果〉 平成21年10月27日実施

① 休み時間にクラスみんなで遊ぶのが好きですか。

・好き 22人 ・どちらでもない 6人
・嫌い 0人

② 昼休みに体育館でみんなでやりたい、今までやったことのない遊びは何ですか。

・ボーリング 12人 ・バスケットボール 6人 ・得意なことの発表 2人
・紙ひこうきとばし 1人 ・はないちもんめ 1人 ・その他 6人

(3) 研究テーマにせまるための手立て

本校で目指している「個を生かした話し合い活動」に迫るための手立てとして、話し合いカードを活用する。話し合いを行う前に、話し合いカードに本議題に対する自分の考えを事前に書かせ、それをチェックすることで、どの児童がどのような考えをもって話し合いに参加しているのかを把握したり、司会の児童が積極的に挙手をすることができないがよい考えをもっている児童を意図的に指名したりすることで個を生かすようにする。また、評価シートを活用することで、今回の活動において個別支援が必要と思われる点を明らかにし、適切な個別支援が行えるようにする。

今回の話し合いでは、今までやったことのない活動を考えるため、話し合いの時間だけでは、考えが行きづまってしまうことが予想される。そのため、事前に室内ゲーム集のような本を学級に用意しておくことで、様々なアイデアが出せるようにしておくことで、活発な意見交換を行えるようにし、学級の活性化に努めたい。

3 指導目標

- 学級生活向上のために、クラス全員で休み時間に楽しくできる遊びについて考え、進んで話し合いに参加し活動しようとしている。(関心・意欲・態度)
- 学級生活向上のために、クラス全員で休み時間に楽しくできる遊びについて考えることができる。(思考・判断)
- 自分の考えを理由をつけて分かりやすく発表したり、友達の意見を自分の意見と比べながら聞いたりすることができる。(技能・表現)
- 話し合いの約束や話し合いで決まったことが理解できる。自分の役割を理解することができる。(知識・理解)

4 活動計画および評価規準

活動計画

月 日	活動の場	活動の主体	活 動 内 容
10月26日	昼休み	計画委員会	課題の選定・アンケートの作成
10月27日	昼休み	計画委員会	アンケートの実施・集計作成
10月30日	朝自習	学級全児童	自分の考えを話し合いカードにまとめる
11月2日	昼休み	計画委員会	話し合いの打ち合わせ
11月6日 (本時)	学級活動	学級全児童	話し合い「今までやったことのないような大会を考えよう」
11月11日	昼休み(体育館)	学級全児童	決まった遊びの実践
11月25日	昼休み(体育館)	学級全児童	決まった遊びの実践
12月9日	昼休み(体育館)	学級全児童	決まった遊びの実践

評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
みんなで楽しく休み時間を過ごすための遊びを考える話し合いに進んで参加し協力して実行しようとしている。	みんなで楽しく休み時間を過ごすための遊びがよいか考えることができる。	話し合いのめあてにそって自分の考えを理由をつけて発表し、比べながら聞くことができる。	話し合いの進め方や自分の役割、話し合いで決まったことを理解することができる。

6 本時の活動

(1) ねらい

- みんなで楽しく休み時間を過ごすためにどのような遊びがよいか考え、話し合うことができる。

(2) 資料・準備

- ・ 役割プレート ・ アンケート調査結果の掲示物 ・ 体育館の写真
- ・ 話し合いの進め方短冊 ・ 意見短冊 ・ 話し合いカード

(3) 展開

議題	今までやったことのないような大会を考えよう		
めあて	みんなで昼休みに楽しくできる今までやったことのない遊びを考えよう。		
配時	児童の活動・内容	形態	教師の支援・留意点
8	1 始めの言葉	全体	○ 話しやすように席を U の字形にして話し合いの場の設定を工夫する。 ○ 司会グループのメンバーが自分の役割を自信をもって務められるよう、事前にしっかりと打ち合わせをしておくようにする。 ○ 「話し合いのやくそく」に従ってそう考えた理由も述べられるように個別に支援する。 ○ 発表するのが苦手な児童も、事前に話し合いカードに自分の考えを書いておくことで意欲をもたせ、自信をもって考えを述べられるようにしたい。 ○ 自分の考えに固執せず、友達の意見を聞いて意見を変えてもよいということを助言する。
	2 クラスの歌		
	3 役割の紹介		
	4 議題の発表		
	5 提案理由の発表		
	6 めあての確認		
3 2	7 話し合い ○ 体育館のできる今までやったことのない遊びを考える。 (予想される児童の反応) ・ ボーリング ・ バasketボール ・ くつとぼし ・ 得意なことの発表 ・ 紙ひこうきとぼし ・ はないちもんめ	全体	○ 話し合いが本時のめあてからそれてきた際には、再度めあてを確認させ、流れを戻すようにする。 ○ 意見が多数出てしぼるのが困難になってきてしまった際には、遊びの魅力を十分に考えさせた上で、1人3回の挙手を認め、これから3回実施できるので、多数決をとって人気のあるものから3つを優先的に実施していくということを告げる。 ○ 一つの種目に多数の児童が賛同してしまうことが予想されるので、少数意見の他の種目の新鮮さやよさにも着目させるようにする。 ○ 進んで挙手をする児童だけの意見に偏らないように、司会は、副司会と協力しながら、挙手はできないけれどよい意見をもっている児童も進んで指名するようにする。
	8 決まったことの発表		
	9 ふり返り		
5	10 先生の話	全体	【評】思考・判断(観察・話し合いカード) 十分満足(A) おおむね満足(B) みんなで楽しく休み時間を過ごすための遊びを、友達の意見と比較しながら考えることができる。 ○ 話し合いカードに自己評価をし、本時の話し合いをふり返る。 ○ みんなのことを考えた意見を具体的に取りあげて賞賛し、次の話し合いへの意欲を高める。
	11 終わりの言葉		
(役割)	司会: 黒板書記:	副司会: ノート書記:	

7 今後の発展と評価

- ・ 決まった遊びを今月より実施し、みんなで過ごすことの喜びを味わわせていく。
決まった遊びについては、計画や運営の段階でより多くの児童が役割を分担し、協力し合っって楽しい活動になるようにする。

第13回 スーパー元気 会活動計画
かかやけ

3年 2組

11月6日(金) 5時間目

お願い 今までやったことのないような大会を考えよう ていあんしゃく		
お願いをだしたわけ	けれどこのききとをたしたおは月一回いごしの昼休みに体育館を使えないのでみんなが遊んど時間をゆうごに使用して楽しむ遊んで30分みんなに楽しんでほしいからこのききとを出しました	
話し合いのめあて	今までやったことのない みんなで昼休みに楽しく遊ぶ遊ばを考えよう	
話し合いの往	みんなの意見(よそう)	気をつけること
1 はじめのことば 2 学級の歌 3 やくわいの発表 4 ぎはりの発表 5 ぎはりを出したわけの発表 6 めあてのかひこん 7 話し合い ・体育館でできる今までやったことのない遊びを考えよう。 8 決まったことの発表 9 ふり廻り 10 先生の話 11 おわりのことば	①意見発表(みんなの考え) ・バスケットボール ・ホーリング ・とく意などの発表 ・糸ひひこうきとはし ・花いちもんめ ・なんでもおにごっこ ・ロンドン橋 など ②しつもんや意見 (なんでもおにごっこ) ・バスケットボールのルールをしらがないはと"を する人ですか ・サッカー"は、外でやったほうがいい ないですか など ③決め方 ・遊びをどう決める(たわひつ) ・新しいアイデアをゆうせしる	①かかやけを見上 りておわりのきき とにしつもん ②みんなのきき ③みんなのきき 決めること ④みんなのきき 決めること ⑤みんなのきき 決めること ⑥みんなのきき 決めること ⑦みんなのきき 決めること ⑧みんなのきき 決めること ⑨みんなのきき 決めること ⑩みんなのきき 決めること ⑪みんなのきき 決めること
役割	司会()副司会() 風板書記()))ノート書記()